

# 第12回 全国中学生創造ものづくり教育フェア 「木工チャレンジコンテスト」新潟県大会 規定課題

○【製作部門】のみ開催する。新潟県内から1点を全国審査へ推薦する。

○作品募集 10月7日(申し込み締め切り) 10月22日(作品等提出締め切り)

○県事務局への申し込みおよび提出

①申し込み書兼参加応諾書(10月7日(金)締め切り)

新潟県技術・家庭科研究会 HP よりダウンロード <http://niigata-gika.jp/>

②課題製作品(実物)(10月22日(土)提出締め切り)

以下の条件を満たす作品を製作する。

- ・皿やグラス等の食器類(以下、「アイテム」と呼ぶ。)を整理・収納できる作品を構想、製作する。ただし、作品は食器棚の中に入るもので、地震が起きてもアイテムが落ちないように工夫する。大きさは任意とし、以下の条件を満たすものとする。
- ・上記の課題について設計し、90分以内で製作する。
- ・使用する材料はヒノキ集成材(t=12×210×1000 2枚)とする。(シナ合板[厚さ4mm, 厚さ9mm, 大きさ900×900], 金属・プラスチックを使用してもよい。)
- ・製作品の大きさは、3辺の合計160cm 以内、重さ25kg までとする。(宅配便の規格より)
- ・材料の接合には、くぎ接合を含めること。

③製作ビデオ(10月22日(土)提出締め切り)

- ・製作時間は90分以内とする。構想図作成時間は含めない。
- ・けがきの作業開始から仕上げ終了までを連続して撮影する。途中で撮影を止めないこと。
- ・作業の様子全体がわかるように配慮し、製作開始から終了までカメラを固定した状態で撮影する。
- ・工具類は事前に全て準備してから撮影を開始する。
- ・競技中に生徒への支援や助言を一切しない。
- ・撮影媒体はVHS, MiniDV, DVDのいずれかとする。
- ・郵送料は各校負担, メディア等は返却しない。製作品は着払いにて返却する。

④構想図(10月22日(土)提出締め切り)

- ・構想に用いる図についてはキャビネット図や等角図等とする。フリーハンドによるラフスケッチやコンピュータによる作図も可。
- ・形式は新潟県技術・家庭科研究会 HP よりダウンロード <http://niigata-gika.jp/>

⑤製作レポート(10月22日(土)提出締め切り)

- ・形式は新潟県技術・家庭科研究会 HP よりダウンロード <http://niigata-gika.jp/>

○ビデオ審査の採点基準

項目	内 容	評価基準
道具の 使い方	○安全 ○管理 ○調整	○安全に配慮して材料の置き方、手の添え方が正しくできる。 ○道具を傷めないように丁寧に扱っている。 ○かんなの調整が正しくできる。 (○制限時間内に作業を終了している)
手順	○材料取り ○部品加工 ○組み立て ○仕上げ	○正しい手順で作業を行うことができる。 ○部品検査によって修正が必要な場合、適切に手順を変更して修正作業を行うことができる。 ○下穴を正しく開け、接合・組み立てが正しくできる。 ○見た目をよくするための仕上げを工夫することができる。
整理・ 整頓	○整理・整頓	○道具・材料を常に整然と整理して作業している。 ○簡単な机上の掃除を行いながら作業している。

○作品審査の採点基準（減点法で採点）

項目	内 容	評価基準	
構想図 の評価	○構想図 が工夫さ れている か	○課題の寸法が未設定である（各箇所－1点） ○寸法が記入されていない箇所がある（各箇所－1点） ○キャビネット図、等角図の決まりに反した箇所がある （各箇所－1点）	/ 1 0
		○発想や工夫について、使いやすさ（取り出しやすさ 等）、創造性（アイデア、作品の形状等）で難点がある。	/ 2 0
部品の 評価	○各部品 が設計図 通りか	○左右対称、上下対称でない（各箇所－1点） ○直角がでていない（各箇所－1点） ○表面の仕上げが精巧でない（各箇所－1点） ○割れ、ヒビ等、雑な仕上げの箇所がある （各箇所－1点）	/ 2 0
接合の 評価	○正しく 接合され ているか	○直角に接合されていない（各箇所－1点） ○釘の打ち込みがあまい（各箇所－1点） ○げんのうの跡がある（各箇所－1点）	/ 1 0
全体の 評価	○作品全 体とビデ オ	○ビデオの評価基準項目をクリアしていない（各箇所－ 1点）	/ 1 0
		○設定アイテムがきちんと収納できない ○構造（強度）に難点がある ○板材の組み合わせで無理がある（各箇所－1点）	/ 3 0